

verde

「verde」とは、ポルトガル語で「緑の」という意味です。



ベルジ箕輪

ベルジ株式会社 有料老人ホーム ベルジ箕輪

発行責任者 総支配人 守田 昌史
支配人 高木 正幸

〒370-3104 群馬県高崎市箕郷町上芝 839-4
Tel 027-371-6610 / Fax 027-371-6613

E-mail minowa@e-verde.co.jp
URL <http://www.e-verde.co.jp>

(ホームページにてブログも更新しております。そちらも是非ご覧ください。)

7月の出来事

フランスといえば、エッフェル塔、セーヌ川、凱旋門にモン・サン＝ミッシェル。世界遺産とお洒落な街というイメージです。箕輪の中でもハイセンスを誇るチームに凱旋門の塗装工事を依頼。先月のビールジョッキの装飾も記憶に新しく、今回も全てお任せ発注「出来ましたヨ」施工の速さに驚くと同時に、デザインの素晴らしさに感動。色画用紙と折り紙で、世界でただ一つの凱旋門を創っていただきました。

トーチリレー

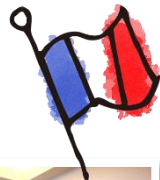


パリオリンピックに沸き立つ今年の夏、世界中では戦地となっている国もあります。

ですが、スポーツのチカラで平和な世にする、それがオリンピックの理念であります。ギリシャで採火された聖火を人々が紡ぎ会場まで運ぶ。その儀式的要素は他の大会にはない神秘性であり、祭典という言葉が相応しい。パリオリンピックで使われたトーチの心臓部は日本の会社が作りました。そんな縁深いトーチ。箕輪のトーチは箕輪のノッポさんこと武田 MG に発注。飾るだけでは勿体ないので、機能訓練士にどうにか皆さまと聖火リレーが出来ないかと相談し、開会式に合わせてこちらを開催。聖火ランナーのような職員から渡されたトーチを輪になった

皆さまの手で繋がれていく聖火。モハメド・アリの点火式のごとく感動的なシーンを彷彿させ五輪熱に灯りました。

凱旋門



バレーボール

今年はバレーボール人気が沸騰。金メダルの期待に膨らんだ注目の予選。フルセットでのドイツ戦五輪前の最後の国際大会となったネーションズリーグでは、主要国際大会では47年ぶりとなる銀メダルを獲得した男子日本代表チーム。世界ランキング2位の日本は勝てると信じていました。石川祐希選手や高橋藍選手のプレーには何度も「おー！」と雄たけび上がるそんな熱いバレーでした。惜しくも涙で試合は終わってしまいましたが、熱冷めやらぬ中、箕輪の皆さまも体感。ビーチボールをアタックしたり、トスしたり、職員とラリーしたり。感動の試合再びでした。





五輪マーク



サッカー



パリオリンピックをイメージした、凱旋門と五輪にフェアプレーを誓い、キックオフ。ゴールに向かいサッカーボール（ビーボール）を「シュートー！！！！」蹴り上げます。東京オリンピックが開催された昭和の熱気そのままに、夢中になって応援にも熱がこもる皆さまでした。



箕輪看護チーム

どんなスポーツにも名医療チームが存在すると思いますが、ベルジ箕輪の医療チームも凄腕です。若きエースの大久保職員は YouTube チャンネルにも登場し（見てない方は是非）^{じょくそう}褥瘡予防委員会で委員長を努めています。



褥瘡委員会

委員会は月に 1 回開催され、1 ヶ月の褥瘡保有・発生状況と経過、ベッドマットの選定や体圧分散具の使用状況などを報告し、対策に関する問題点などについて検討しています。また、2 週間に 1 回看護内で評価し、往診医・皮膚科に報告して対策案の検討もしています。褥瘡予防に関する知識・技術等を向上させ、ケアにつなげ発生率「^{ゼロ}0」を目指して日々精進しております。

医療用語 Q&A

^{じょくそう}

褥瘡とは

寝たきりなどによって、長時間同じ姿勢でいると、皮膚にかかる圧力で血流が悪くなり、組織が壊死する病気です。一般的に「床ずれ」ともいわれています。

バイタルサインとは

「生命徴候」のことで、「脈拍」「呼吸」「体温」「血圧」「意識レベル」の 5 つがバイタルサインの基本です。施設では朝・昼・晩と 1 日 3 回測定し、情報共有しています。



訪問ボランティア



みのわ情報

いよいよ訪問ボランティアが再開される運びになりました。開催日は8月26日(月)篠笛クオリア様による演奏会が行われます。写真は以前演奏会をしていたいただいた時のもの。2019年10月に演奏くださいましたから、約5年ぶりの開催となります。待ち焦がれたボランティアの皆様、心よりお待ち申し上げております！

白い鳩

平和の象徴と言われる白いハトですが、オリンピックでは必ず白い鳩が登場します。ソウルオリンピックの聖火に鳩が巻き込まれる事件を境に空に鳩を飛ばす演出は自粛されましたが、白い鳩は演出によって意志を継ぐ形で登場しています。1964年の東京オリンピックでは8千羽もの鳩が空に瞬いたそうです。もしかしたらベルジ箕輪に時折羽を休めに来てくれている鳩は、その末裔なのかもしれませんね。平和の象徴であり、幸福のサインといわれる鳩、その高貴なお姿に癒されます。



編集後記

梅雨が明け、覚醒したと思われる太陽の実力を肌で感じ、これは誠なのかと疑う温度計の数字に驚き、汗は尋常じゃないほど身体から放出され、日が落ちて高温の中、散歩される犬を見かけると夕立が来て欲しいと願う日々です。群馬は「雷と空っ風義理人情」というように雷が多い地域ですが、命の危険を合わせもつ雷に怖さがありながらも、暑さを打ち消してくれる雷雨の有難さは恋しく、稲妻が去った後の熱を失った爽快な風を肌を感じながら眠りにつく、エアコンでは得られない川床のような涼が夏ならではの幸福だと大人になって思うことです。先日、退勤し、施設を出た時分に大雨に遭いました。雷雲に覆われた空ではなく、まるで東南アジアのリゾートのようなスコール。シャワーのような雨に道路は瞬く間に川のように。スカートはずぶ濡れ、ジャブジャブとスニーカーの中は大洪水。駐車場に着く頃には橙に輝く太陽が顔を覗かせ、車に乗り込みワイパーで雨をかきながら走らせると、虹のたもとが目の前に現れたので、車を止め、脱水を忘れた洗濯物のようなスニーカーに足を突っ込み、走る度、ビチャビチャと奏でる足元も気にせず、公園の高台まで全力疾走。「間に合った」アーチになった、両手を広げて足りない虹を仰いだその時の不快な爽快感はまるで真夏の花火のよう。いつまでも水が滴るスニーカーを庭先で干しながら、田中希実選手の気持ち少し分かったような気がしました。